

まえがき

受験英語はもちろんのこと、そもそも英語を学ぶときに、誰もが通らなければならない道がある。何だと思う？ そう、「単語」だ。

日本語と英語は、みんなも知っているとおり、そもそもまったく異なる言葉だよね。文法だけじゃない。ひとつひとつの言葉、つまり単語のそれぞれにおいても、日本語と英語にはすごく大きなズレがあるんだ。

大学入試のために必要な単語数は、4000～6000にものぼるとか。でも、単語学習は無味乾燥な「暗記」に感じられてしまうことも多い。英語を学ぶのは大好きという人でも、単語の暗記が大好きという人はいないんじゃないかな。

これは困った。ゴリ押しの丸暗記以外に手はないの？

英語と日本語で意味がズレる単語を、受験で頻出するものを中心に集めたこの本は、まさしくその悩みに応えるためのもの。

他の単語帳や参考書にはない、この本独特の工夫は、日本語とは異なる英単語の「コアイメージ」を、そして英語と日本語のズレをはらんだ関係を、「絵」で一目瞭然に理解できるようにしたことだ。まずは巻頭の「前置詞の森」を開いてみてほしい。抽象的な記号やピクトグラムのようなものだけではなく、マンガ的な工夫も凝らし、虚構や日常をとりまぜた多様なシーンを想定しつつ描かれたたくさんの「絵」は、英単語の学びをきっと楽しくしてくれるはず。

英単語の「コアイメージ」を「絵」でとらえれば、英語がより深く身についていく。また、単純な暗記とは異なり、いったん覚えた単語の意味を忘れない。というか、その単語をもう忘れられないようにしてくれる。

それぞれの章の特徴を紹介しよう。

第1章は、英語と日本語で大きく意味がズレている単語を集めた、本書の導入部だ。楽しい絵と見比べながら、「英語は日本語とこんなに違うんだ！」ということを、まずは実感してほしい。

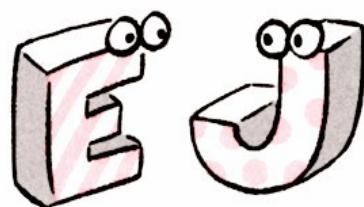
第2章は、前置詞をあつかうパート。日本語に存在しない前置詞は、ものすごくわかりづらいけれど、基本的には空間的な位置関係を表すものだとして押さえよう。前置詞の難関を、さまざまな「絵」で視覚的に攻略していこう。

第3章は、いわゆる多義語を集めてみた。ひとつの英単語が複数の意味を持っている場合、日本語ではあまり関係がないように見えても、それぞれの意味の背後に、その単語のコアイメージがある。コアイメージをつかんでしまえばしめたもの、多義的な意味が自然と腑に落ちてくる。

第4章は、第3章とは逆に、日本語ではひとつの単語でも、英語ではいくつかの語を使い分けなければならないケース。「絵」と例文で、使い分けを立体的にとらえていこう。

英語を学ぶことはおもしろい。英単語を覚えることはおもしろい。
——この本を読んで、そうした感動を得た、英語学習にいつそう打ちこめるようになった。そんな声をぼくたちは心から期待している。

目次



どこが違う?

まえがき 2

第1章 日本語と英語 ここが違う! 5

第1章の見方・使い方 6

COLUMN 虹は7色じゃない? 20

第2章 前置詞をマッピングする 21

第2章の見方・使い方 22

前置詞のコアイメージ 24

前置詞の使い分け 58

COLUMN 原義の利点 98

第3章 多義語をマスターする 99

第3章の見方・使い方 100

COLUMN そのカタカナ語、英語で通じる? 186

第4章 使い分けをイメージする 187

第4章の見方・使い方 188

さくいん 266

第2章 の見方・使い方

第2章では前置詞の中心的なイメージ＝コアイメージをまず見ていく。

代表的な訳や説明を取り上げた。

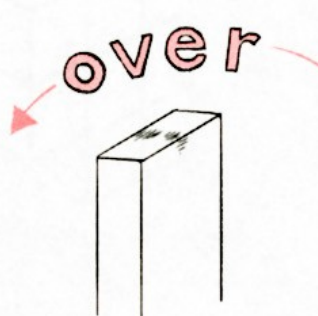
前置詞の
コアイメージ。

コアイメージは
文字そのものを
絵にして示した。

Core Image 前置詞 [コアイメージ]

over
「～の上方に」

- ・〈位置〉～の上方に
- ・〈経路〉～を越えて、向こうに
- ・〈数量・程度〉～より多く



例文

- ・ フェンスを飛び越える jump **over** the fence
- ・ 19歳以上 **over** 18*

* 「～より多く」という意味なので、18歳は入らないよ

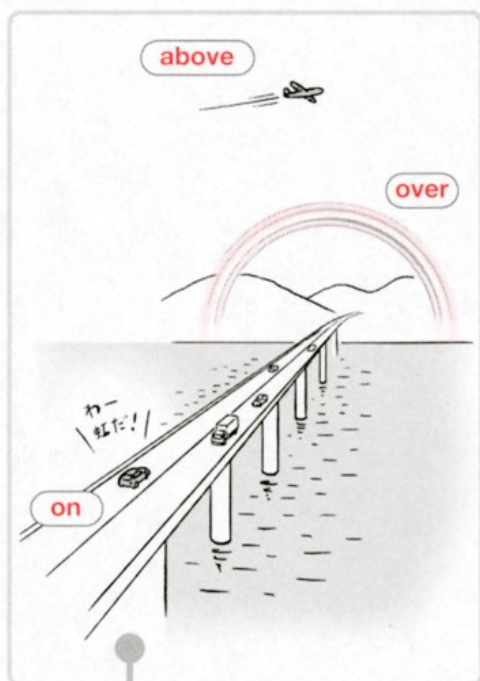
40

入試で頻出の表現を例文として示した。

コアイメージの次は、使い分けについて見ていく。

日本語だと同じ意味になるけれど、英語では使い分ける語を示した。

使い分け 前置詞



74

on / over / above [~の上]

さらに理解を深めるために、ポイントとして説明した。



on は「接している」イメージ。
over は「またがる」イメージ。
above は「離れた上方にある」イメージ。

- 橋の上の車
a car **on** the bridge
- 橋の上の虹
a rainbow **over** the bridge
- 橋の上の飛行機
an airplane **above** the bridge

75

絵で違いを示した。

このマークがあるところは赤シートを使ってみよう。赤シートを使うことで正しい使い分けを身につけよう。

第3章 の見方・使い方

第3章の左ページでは
英語では1つの語でも、
日本語ではいくつもの
意味を持つ多義語のコ
アイメージを取り上げ
た。

多義語のコアイメージ。

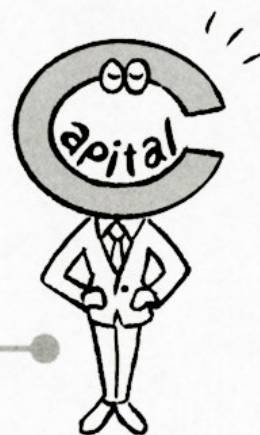
コアイメージは文字そ
のものを絵にして示し
た。

Core
Image

多義語 英語→様々な日本語

capital

「頭」



例文

- written in capitals
- the capital of Japan
- foreign capital

112

入試で頻出の表現を例文として
示した。

右ページでは代表的な意味を取り上げた。

コアイメージから連想できるように絵を工夫した。

さらに理解を深めるために、ポイントとして説明した。

見出し語に関連する語を掲載。

このマークがある箇所は赤シートを使ってみよう。その際、必ずしも絵と例文が一致するわけではないので注意しよう。赤シートを使うことで多義語を身につけてね。

大文字

CAPITAL
↑
capital

首都



使い分け

資本



「頭」から「先頭にあるもの／主要なもの」をイメージしよう。

第3章

関 captain (キャプテン) / cap (帽子)

訳

- 大文字で書かれた
- 日本の首都
- 外国資本

例文の和訳。

第4章 の見方・使い方

日本語では1つの言葉で表せる内容でも、英語ではいくつかの語を使い分けて表すものを取り上げた。

絵を見て違いを理解しよう。

使い分け 日本語→様々な英語

consult



POINT

consult は「辞書などで調べる／人に助言を求める」。
inspect は「そのものを調べる」。
* examine も inspect と同じ意味だよ。

202

使い分ける際のポイントを説明した。

日本語の意味。

[調べる]

inspect

花の色が
独特だな



第4章

辞書を調べる

consult the dictionary

鞆を調べる

inspect the bag

入試で頻出の表現を例文として示した。

203

このマークがある箇所は赤シートを使ってみよう。その際、必ずしも絵と例文が一致するわけではないので注意しよう。赤シートを使うことで正しい使い分けを身につけてね。